【在宅医療・介護連携推進事業について】

1　金沢市在宅医療・介護連携支援センター（いいがいネット）について

（1）概要

平成29年10月に公益財団法人金沢総合健康センター内にオープン予定。

①　機能

ア　在宅医療・介護連携に関する相談支援

イ　ICTを用いた情報共有の推進

ウ　在宅医療・介護連携に関する研修等の実施

エ　関係機関とのネットワークを構築

②　愛称について

平成29年3月、金沢市在宅医療・介護連携推進協議会内に愛称選考委員会を立ち上げ、応募のあった23作品の中から、「いいがいネット（良・医・介゛ネット）」に決定。

> 『在宅療養の方々が「いいがいね～」と笑顔になれるような“良い医療と介護”を提供できるよう、地域のネットワークを広げおつなぎします』の意

③　ロゴマークについて

連携支援センターの機能、愛称をイメージできるよう市内デザイン会社に委託し、数点の候補の中から、市広報ディレクターの意見を参考に決定。

良医介゛NET
いいがいネット

（2）オープンまでの取組

①　関係機関との顔の見える関係づくり

センター開設に向け、コーディネーターが関係機関へ訪問し、センター機能の周知や顔の見える関係づくりに取り組んだ。

また、医療連携グループ等の研修会へ参加し、関係者との顔の見える関係づくりにも取り組んだ。

図1　訪問実施先一覧　（単位：件数）

在宅医療・介護連携推進協議会委員	15	地域包括支援センター	19
病院地域連携室	41	居宅介護支援事業所	8
在宅医療応需医療機関	58	福祉健康センター	3
訪問看護ステーション	38	その他	10
調剤薬局	49		

②　地域の社会資源の情報収集、情報整理

訪問等を通じて、関係機関のインフォーマル情報の収集を実施。また、地域の社会資源情報の整理も行っている。

平成29年度　第1回 金沢市介護保険運営協議会	資料３
平成29年8月10日	

２ 今年度の在宅医療・介護連携事業について

（1） 多職種連携について

① 医療と介護の連携のための研修等の実施

ア 市内全域を対象とした多職種研修（10／19）

他職種への理解を深め、市内全域での顔の見える関係づくりを推進

イ ハートネットホスピタル体験会（7／10、11／10、2／9）

医師や歯科医師、ケアマネなどを対象に、タブレットを使った体験型の研修会を開催

ウ 在宅医育成研修（8／3）

在宅医療に関する座学研修と在宅診療をする医師に同行する実地研修

エ ケアマネジャー向け医療コーディネート力向上研修（12／1）

医療分野を一般的に不得手とするケアマネジャー向けの医学講座

オ 講演会（9／27）

宇都宮宏子氏（在宅ケア移行支援研究所　宇都宮宏子オフィス代表）による開設記念講演会

カ 医療連携グループによる多職種研修

各医療連携グループが多職種研修や事例検討会を継続して実施

② 在宅医療・介護連携のための指針（主に退院支援）づくり

退院支援を含めて在宅医療と介護の連携の際の注意点や心得などをまとめた「指針」を作成する

③ 他市町村の連携支援センターとの顔の見える関係づくり

他市町村の連携支援を実施する機関との顔の見える関係づくりを進め、
広域での相談支援体制を構築する。

（2） 市民への普及啓発について

① 小学校下単位での市民向け出前講座の開催

平成29年度より市内の小学校下ごとでの在宅医療出前講座を開催。
講師をその地域のかかりつけ医に依頼し、地域住民が参加しやすい講座とする。

開催日	地区	参加者数	講師名	
6月6日	米丸	２８名	さかもと内科クリニック	坂本　茂夫　先生
6月14日	野町	３０名	大野内科医院	大野　秀棋　先生
6月14日	瓢箪	２１名	きむら尾張町クリニック	木村　寛伸　先生
8月23日	馬場		森田医院	森田　正人　先生

※以下順次開催予定

② 在宅医療リーフレットの作成 （別添リーフレット参照）

出前講座・市民公開講座開催時に配布
市施設（福祉総合窓口、福祉健康センター、公民館など）、地域包括支援センター、
病院地域連携室等に設置

③ 金沢市医師会との共催による市民公開講座の開催

開催に向けて調整中。また、これまで行っていなかった参加者へのアンケート調査の実施も検討。